

十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」

キョロロ。

第15回

里山学会

「土から地球を考える」

～土壌動物の多様性と役割～

日時 平成20年8月9日（土） 15：30～18：30
場所 十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ
参加費 無料

【講演プログラム】

- 15：30～15：35 開会あいさつ
15：35～16：05 「落ち葉の下の小さな生き物たち」 皆越ようせい氏（自然写真家）
16：05～16：45 「土を作り植物を支える土壌動物の働き」 福山研二氏（森林総研）
16：45～17：05 休憩
17：05～17：45 「地面は土壌動物の糞でいっぱいだ！～土壌動物ととの生態学的機能～」 金子信博氏（横浜国大）
17：45～18：25 パネルディスカッション ～森と水と土壌～
司会：村山暁氏 パネリスト：皆越ようせい氏、福山研二氏、金子信博氏、沢畠拓夫氏
18：25～18：30 閉会あいさつ



オカダンゴムシ Y.Minagoshi

私たち人間を含めたさまざまな生き物を育む「土」。

私たちの母なる「土」は、実はいろいろな生き物によってつくられ、維持されています。

今回の里山学会では、「土」を支えるいろいろな生き物たちと
その働きについて紹介します。

講演者



福山研二（ふくやま けんじ）氏

森林総合研究所研究コーディネータ

1949年生まれ。東京大学大学院農学研究科修士課程修了，農学博士。
森林総合研究所北海道支所から林野庁研究普及課首席研究企画官，森
林総合研究所森林昆虫研究領域長を経て現職に至る。
専門は森林昆虫学・土壌動物学。



金子信博（かねこ のぶひろ）氏

横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

1959年生まれ。京都大学大学院農学研究科修士課程修了，農学博士。
主な著書「土壌生態学入門—土壌動物の多様性と機能—」，「土壌動物
学への招待—採集からデータ解析まで—」（編著），「国連ミレニアム
エコシステム評価—生態系サービスと人類の将来—」（翻訳）
専門は土壌生態学。



皆越ようせい（みなごし ようせい）氏

自然写真家

1943年熊本県生まれ。主に土づくりをする小さな生きものたち（土壌動物）をテ
ーマに、写真を撮り続けている。また、各地の保育園・幼稚園，小学校から大
学・一般まで，土壌動物についてスライド講演も行っている。
主な著書「おちばのしたをのぞいてみたら...」「ダンゴムシみつけたよ」「ミミ
ズのふしぎ」「ハサミムシのおやこ」「土の中の小さな生き物ハンドブック」など。
日本写真家協会会員，日本自然科学写真協会会員，日本土壌動物学会会員。



2008 7/16~9/15 キョロロの夏の特別展示

森を支える小さな戦士
~落ち葉の下のいきもの展~

開催中

【お問い合わせ】

十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ

〒942-1411 新潟県十日町市松之山松口 712-2

TEL: 025-595-8311 FAX: 025-595-8320

ホームページ <http://www/matsunoyama.com/kyororo>